

文協通信

第68号

2020・4・1

(発行)高野 宗佳

(一社)町田市文化協会

(編集)所 洋

題字・平野南秋

「年々歳々花相似たり」

(一社)町田市文化協会会長 高野 宗佳

季節の到来と共に花は人知れず咲き始め、その姿に心を和まされ励まされるこの好季節、皆様にはご健勝にてご活躍の事とお喜び申し上げます。

希望に満ちた令和二年の春も、思いがけない新型コロナ感染のため日本中が穏やかならぬ日々を過ごすこととなり、当協会・関係各団体も、やむを得ず行事や会合の中止や延期をいたすこととなりました。我々にできることは、徒に恐れ騒ぐことなく自己管理をよく心がけ落ち着いた時期到来のオりの為、体力・気力を充電することでしょうか。そしてその苦難の中から新たな知恵が生まれることを信じます。



扱、拙い会長として一期・二年を終えようとする本年、6月に定時総会を予定しております。法人格としての定款に基づく体制作りに務めて参りました二年間ありがとうございました。

この間、町田市文化・国際交流財団のご指導を頂き、賛助会員の皆様には、折に触れお励ましを頂いて参りました。市長はじめ町田市の皆様にも暖かいご厚情を賜りました。すべてのご縁とのおかげ様に有難く感謝申し上げます。

これからも懸案事項や課題は山積のようではございますが、とにかく新たな組織の下、役員の皆様と力を合わせて乗り切って参る所存でございます。加盟団体のみなさまには引き続き地域文化振興に寄与出来ます様、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。併せて、ご支援を賜りました皆様にも、今後共ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

時節柄、皆様のご清安をご祈念申し上げまして、新年度に当たりご挨拶とさせていただきます。

「新春文化の祭典 in 鶴川 2020」を終えて

和光大学ポブリホール鶴川館長 石井 章夫

和光大学ポブリホール鶴川の開館から継続して行われている、一般社団法人町田市文化協会主催の「新春文化の祭典 in 鶴川 2020」が、今年も1月11日(土)より3日間賑やかに開催されました。

2012年に開館した際、少しでも多くの市民の方にこの施設を知っていただこうとして始まったこの祭典も8回目を迎え、年々来館者も増えております。今年も盛況のうちに無事終了できましたことは、町田市文化協会の皆様のご努力のおかげと感謝申し上げます。

今年は、FC 町田ゼルビアによる「健康体操」や女性能楽師による「能のワークショップ」など新しい試みが祭典に華を添えました。当財団といたしましても、毎年秋に町田市民ホールで行われる「町田市民文化祭」と新春に和光大学ポブリホール鶴川で行われる「新春文化の祭典」は、市民の方に町田市の文化を体験していただく大きな機会として捉えております。今年度、市内で活動している文化団体の皆様を支援する目的で設置した「文化団体支援準備室」を中心に一緒に取り組めたことは、大きな成果として、今後につなげていきたいと考えております。



結びに、これからも町田市文化協会の皆様の益々のご活躍により「新春文化の祭典 in 鶴川」が盛大な祭典となりますようご期待申し上げます。

「令和元年度 賀詞交歓会」

(一社)町田市文化協会副会長 三竹 和行

令和元年度の『文化協会賀詞交歓会』は令和2年1月26日に開催されました。

会場は例年のごとく千寿閣の宴会場にて今回も12時からの開宴です。

当日は木島副市長・佐藤市議会副議長、都議会議員は奥澤氏・池川氏・小磯氏・吉原氏の4名全員にてご出席、衆議院議員も小倉氏・伊藤氏そろってご出席、市議会議員はなんと24名もご参加いただきました。市議の方々にはいつもより多めの時間を費やしていただきそれぞれからショートスピーチをいただきました。

町田市からは黒田部長・平林部長・神谷課長・齊藤博物館館長代理が出席され、財団からは鷲北理事長・森専務など多数のご来賓をむかえることができました。更には文化協会の活動を財政多忙の中を21名もご参加いただきました、誠にありがたいことです。

加盟団体からは会員80名が参加して総勢136名と今年も賑やかに華やかに賀詞交歓会が催されました。舞踊連合会の踊りとハワイ音楽研究会の音楽の余興があり皆様存分にお楽しみいただきましたが、会員同士の親睦の時間をもっと持てるような式次第に次回はしたいと考えました。

ご参加の皆様はあまり飲み物を注文されないで『飲み放題』は得ではないのですが140名近い方が飲み物をそれぞれに注文するとホテル側が対応できるか不安です、利用するホテルを決めるのは難しいことです。今後の課題です。“今年もとても楽しい賀詞交歓会でした”



新春文化の祭典in鶴川2020 特集

講演会とヴァイオリン演奏 ————— 町田市映像文化研究会会長 谷山 良太

文化協会主催鶴川ポプリホールでの新春文化の祭典の一環として私ども映像文化研究会は「道徳を考える講演」をヴァイオリン演奏とのコラボで開催致しました。講演、演奏とも鎌倉在住の沼野文子氏です。道徳の講義の教材として公益財団法人モラロジー研究所発行の月刊小冊子「ニューモラル」を使用して「まごころの力」と題して講話を45分2コマ、90分間話をして頂きました。第1講終了後15分間休憩のあと20分間ヴァイオリン演奏に耳を傾け心地よく癒やされたあと第2講に移ります。

私達の言葉や行動は目に見えない心から生まれます。わがままな心を持てばその言動は自分勝手になります。思いやりに満ちた「まごころ」を持って人に接すればその言動は相手の気持ちに配慮したものになり、その温い心は周囲の人達にも伝わっていく。生きていく上で大切な「まごころの力」の目に見えない威力を教えてくださいました。同じように心を使うのであれば「わがままな心」ではなく自分の中にある「まごころ」を使い周囲にぬくもりを伝える人になって欲しいと、ともすれば堅苦しく感じられる道徳の話講師の体験を交えて平易にわかりやすく話して頂き心が洗われるような思いがしました。



新春茶会 女性能楽師と春を愉しむ ————— 町田茶道会 倉持 宗江



町田茶道会は創立55周年を迎え、2019年11月17日に町田市文化交流センターで記念茶会を開きました。その中で、観世流能楽師伊藤嘉章氏による能のワークショップを行いました所、大変好評でしたので、新春茶会でも取り入れることになりました。多目的室に舞台を作り、竹を大きく生け、金屏風を設え柱を立てると、立派な能舞台になりました。講師は梅若紀佳氏と高校1年生の梅若千音世氏です。

能についての解説の後、二人の連吟「高砂」。お腹の底から出る力強い声に圧倒されました。次は四海波の謡の解説の後、仕舞「嵐山」。ゆっくり大きく流れるような扇と体の動きを見つめていると、幽玄の世界に引き込まれていきます。最後に型とハコビや面についての解説の後、仕舞「吉野天人」。見ていだけでは意味や背景を理解しにくい能の世界ですが、解説を入れて吟じたり舞ったりしてくださったので能を身近に感じ、男性能楽師とは違った日本の伝統文化を味わうことができました。

4回公演でしたが、各回とも座席数が足りず、立ち見の方もいらっしゃいました。お茶会と違う世界を体験できたことで、お客様方の評判も良かったです。



「第二回新春俳句大会」盛況裡に深く感謝 ————— 町田市俳句連盟会長 小林 絹子

お陰様をもちまして昨年に続き、第2回目も迎える事が出来ました。これも文化協会員を始め俳句愛好者の皆様方のあたたかいご支援のたまものと心より感謝申し上げます。亦町田市文化、国際交流財団、和光大学ポプリホール鶴川、及び町田市文化協会様には心暖まる御祝辞を頂戴致し、その上賞状迄頂き誠に有難うございました。

当日の成績及び高点句は次の通りです。

町田市文化国際交流財団賞 1位

ありのままに生きて今あり初鏡

草薙 温子

町田市文化協会賞 3位

追憶の壁の深まり年立てり

小林 絹子

和光大学ポプリホール鶴川賞 2位

仕舞場にゆるやかにゐて去年今年

篠田 典子

町田市俳句連盟会長賞 4位

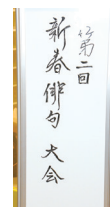
羽子板市こころに刺さる写楽の目

田中 英子

以上は入賞句ですが、その他力作揃ひの素晴らしい俳句ばかりでございました。

町田俳句連盟と致しましては、これからもこ地に根ざした作品の希求を目標とし、常に人生に好奇心とロマンを失う事なく、自然と共に生きいる喜び等々の境涯を詠み続け、より一層豊かな充実した文芸作品になる様にと努め、感動ある人生を皆様とご一緒に進み度く存じます。

今後共俳句連盟にかかわらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



“ゼルビーと一緒に健康体操教室”に参加して ——— (一社)町田市文化協会理事 浅野目 明人



第8回新春文化の祭典in鶴川2020は、1月11日から3日間、ポプリホールで行われました。

初日、地下ホールで大正琴の演奏会、会議室では各団体の各種催しが行われていました。偶々エクササイズルームを覗いたら「ゼルビーと一緒に」健康体操教室が始まります。1回15分、参加して見ませんか」と勧められました。普段運動不足である為、どういう運動なのか、これを生かして毎日が健康で過ごせるか興味を持ち参加してみました。教える人は、FC町田ゼルビアの野村さんで、準備運動の一環として毎日やっていると事です。内容は我々が知っているジャン、ケン、ボン



を基本にリズムカルに手足を伸ばす運動でした。胸に手をグーで付け、もう一方の手は勝ちのパーにして大きく振り上げる。それを3分～5分繰り返す。左手と右手を逆にしたり考えながら運動するので、頭の体操にもなり面白かった。その後、カカト落とし、屈伸運動、最後に腹式呼吸法を教わりました。4秒で息を吸い4秒息を止め、8秒でゆっくり息を吐くを5回繰り返す。これで血管が若返り毛細血管を整えられるとのこと。15分があっという間に過ぎ、体が軽くなった気がしました。有難うございました。来年も続けて頂き、多くの方に参加してほしいと思います。

新春吟詠大会の開催

町田市吟詠連盟理事長 川添吟照

町田市吟詠連盟は毎年、新春吟詠大会を和光大学ポプリホール鶴川で開催しています。

内容は青少年を含む会員吟詠、俳句連盟とのコラボ、式典、和太鼓演奏、相談役・参与吟詠、一般参加吟詠、理事者吟詠です。吟者は新春新たな意気込みで、漢詩、俳句、短歌、新体詩を独吟及び合吟の令和二年スタート時に相応しい吟詠でした。

俳句連盟とのコラボは、平成30年11月3日市民文化祭秋季吟詠大会のスタートが好評でしたので、今回で5回目のコラボとなりました。コラボの内容は司会者が俳句作者を紹介し、俳句の内容を説明後に吟者が俳句の叙情、情景をイメージして吟詠します。お陰様でコラボが終わる度に大成功で良かったとお互いに喜び感謝し合っています。

式典では高野会長様から祝辞を頂きました。吟詠連盟の活躍並びに文化協会への支援、協力に対するご挨拶を頂きました事は感謝の至りです。相談役、参与の先生方にはご挨拶と吟詠を頂きました。式典前には毎年「薬師太鼓あずま会」の和太鼓演奏があり、そのリズムカルな演奏が心地よく体全体に響き渡り新春の英気を頂きました。



俳句と吟詠のコラボ

町田市民「新春囲碁大会」

町田市囲碁連盟 倉橋 幸二

ポプリホールでの新春囲碁大会も早いもので第8回となりました。

スタッフも高齢化が進み70代80代になっているので、碁盤もゴム製に、碁石を入れる碁筒も透明なプラスチック製にしたり少しでも円滑に準備や片付けができるよう改善をしてきました。また運営方法も全員が最後まで参加できるよう一昨年から同一勝敗者同士を組み合わせるスイス方式に改めました。

大会は腕自慢の名人戦クラスから三段以上のAクラス、二段以下のBクラスの3つの階級で全員が4局を行います。参加者の年齢は90歳代が数名、70代・80代が多く平均年齢は70代後半ですが、今年はAクラスに小学生が三段で参加し2勝2敗と健闘しました。いつも楽しみにして参加される常連の方も多く定員は80名ですが、当日キャンセル待ちで来られる方もいます。女性も数名参加していますが、もっと多くの女性が参加すれば華やかになると期待しています。



Bクラス優勝の野中常任顧問

会場の一角でいつも太陽がまぶしく当たる場所がありましたが、今回はポプリの方で日差しを遮る処置をしてくださり快適な環境になり助かりました。高野会長はじめ町田市文化国際交流財団様ほか多くの方の協力のもと円滑に運営できますことを感謝申し上げます。

舞踊連合会



和やかに踊る舞踊連合会の面々

第45回「町田市民美術展」春の催し

幹事団体創作陶芸紅土会

2月22日～8日間町田市立国際版画美術館での展覧会です。文化協会主催のもと町田市、版画館のご協力を頂き創作陶芸紅土会、町田市書道連盟、町田市美術協会が中心となり市民に呼びかけ開催致しました。初日セレモニーが開催され、文化協会高野会長よりご挨拶を申し上げ、木島副市長始めご来賓の皆様にご挨拶を頂戴致しました。市民の皆様は文化活動に心を寄せて頂きました。町田商工会議所、衆議院議員、都議会議員、市議会議員、市民ホール、振興課・版画館、加盟団体関係者及び一般市民の皆様にも参加頂きました。幹事団体創作陶芸紅土会須藤会長が挨拶「応募の約半数は一般市民の皆様です。今後も展覧会を盛り上げて頂きたい」とお願い致しました。連続出品者メダル授与式も行なわれ、11名に授与されました。新型コロナウイルス流行の最中、外出自粛の中4050名の皆様に観て頂きました。関係者の適切な判断や、ご協力のお蔭で無事に終了出来ました。



人形文化連盟会長 松岡 みゆき

令和元年が幕を閉じようとする暮れの十二月四日に、川合会長がご逝去されました。訃報をお聞きした時、あまりにも急なお別れに涙が止めどもなく流れ落ちました。

先生に初めて会ったのは十八年ほど前、私が母を亡くして数年たった頃でした。亡き母と年齢が同じでしたので、私はまるで母のように慕い先生も娘のように接して下さいました。

私は末の弟と三姉妹でしたが、幼いころは人形を買ってもらえなかったので人形に憧れていました。先生が人形の講師だと知り、すぐ先生の弟子となり熱心なご指導のお陰で、木目込人形師範の資格を取ることができました。子供の頃憧れていた人形を自分の手で作る喜びは、何とも言えません。

先生とは人形文化連盟の活動で、尾根緑道でのさくら祭り、去年 43 回を迎えた市民ホールでの秋の文化祭の出展、養運寺での人形供養などご一緒し、またお正月には国立劇場で人形美術協会の表彰式典と歌舞伎鑑賞で新たな年の始まりとしました。

先生がつくる市松人形は、見事でうっとり見とれる程でしたが、他にも御所人形、押絵、レリーフ、フランス人形、と先生の手には掛かると人形に命が吹き込まれる様でした。

人形制作に情熱を注がれた人生でした。思い出は尽きません。先生の願いは文化協会の発展でした。先生の志を受け継いで参ります。ここに慎みて先生へ追悼の文を捧げます。



昨年の文化祭の展示

個人・団体情報

令和2年度 町田茶道会お茶会のご案内

■「月例茶会」

日 時 7月19日(日)10時～15時
会 場 プラザ町田ビル 町田市文化交流センター5階
「広間席 山吹」 席主:大日本茶道学会 有賀 仙陽
「立礼席 けやき」 席主:江戸千家 倉持 宗江
お茶券代:2500円(前売り2000円)



TOKYO 2020 陶芸個展のお知らせ

主催 三竹和行(創作陶芸紅土会)
会期 5月14日(木)～17日(日)
10時～17時
(初日は13時から)
会場 町田市市民ホール4階ギャラリー
連絡先 三竹和行 090-2552-0690



数々のイベントが予定されていましたが、コロナウィルス感染予防のため中止になりました。今後も中止になる可能性がありますので、念のためご確認の上ご来場ください。

賛助会員及び理事・正会員の皆様へ
「賛助会費及びご寄付について」

賛助会費及び寄付金につきまして、昨年度中も大変ご協力を賜りまして誠に有難うございました。

秋の市民文化祭を中心に、新春文化の祭典 in 鶴川、春の文化祭と自主事業をさせて頂けましたのも、ご支援お励ましのお蔭と心より感謝申し上げます。

又、町田市からの依頼によるラグビーチームのおもてなしや博物館
ファイナル展への協力等も、前向きに進めることが出来ました。

令和も二年目となります。(一社)町田市文化協会の目的である町田市の文化振興と加盟団体の協調に寄与できます様、新たな気持ちで精励いたす所存でございます。本年度も引き続きご支援、ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

尚、新年度の賛助会費及びご寄付お申込み用紙は、事務局で用意してありますので、役員までお声掛けを頂きますようお願い申し上げます。

(一社)町田市文化協会会長 高野 宗佳

(一社)町田市文化協会 定時総会及び懇親会のお知らせ

日 時：令和 2 年 6 月 8 日(月) 午前 10 時～12 時
会 場：町田市民ホール 第 4 会議室

* 総会欠席の場合は委任状を提出下さい。

(総会のお知らせのハガキが届きますので返送願います)

懇親会：同会場にて午後12時30分から。会費3500円

* 懇親会には会員の皆様もご一緒にご参加下さい。



一般社団法人 町田市文化協会

会 長：高 野 宗 佳
住 所：〒194-0211 町田市相原町850-17
T E L：042-779-0253
Email：machida.bunka@gmail.com